

# 後援会 会報

No. 2

## CONTENTS

後援会が抱える三つの課題	1
理事長・学長挨拶	2
役員名簿	2
就職活動について	3
就職支援関係(20年度・予定)	3
平成19年度決算	4
平成20年度予算・事業計画	4
平成20年度父母懇談会	4

平成20年7月1日(火)

発行責任者 伊藤誉志久  
 発行係 〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1  
 北海道文教大学事務局学務部教務学生課内  
 北海道文教大学後援会 TEL 0123-34-0011

## 後援会が抱える 三つの課題

北海道文教大学後援会会長  
 伊藤 誉志久



会員の皆様には、日頃から後援会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

私は去る4月2日に開催されました総会において、前年度に引き続き後援会会長に就任致しました。昨年一年間、会長という重責を担ったところですが、正直なところ結構忙しいもので、副会長をはじめ役員、理事の方々はもとより、事務局のみなさんの協力がなければ到底職務を全うすることはできなかったものと考えております。今年度一年間、昨年度に引き続き一杯努めさせていただきますので、会員の皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

さて、今回、私がこの会報で申し上げたいのは、現在、後援会では大きな課題を抱えているという事です。この課題とは、私が会長に就任する以前に、前会長も指摘されていたことですが、大きくは次の三点に集約されます。

### 一 親御さんの関心の低さ

鈴木学長も大変憂慮されていることですが、後援会としては、父母懇談会への参加状況などから、皆さんのお子さんへの関心の度合いが低いのではないかと、危惧を持っております。お子さんの学業の状況、学生生活の有り様、就職活動等各種行事への参加などについて、もっと積極的に関心を持って対応していただきたいのです。

例えば、後援会では大学当局が実施している就職活動事業に助成し、就職担当者が就職活動に有利となる講座等について、安価な個人負担で参加できる体制を構築しています。

しかしながら、就職担当者の方々からは、そのような情報がお子さんから親御さんにきちんと伝わっているのか、或いはご家庭に送付されております様々な情報が掲載されている大学からの広報誌が読まれていないのではないかというお話を伺っている状況にあります。少しきつい表現になりますが、学費さえ払っていれば良いのではありません。後援会では様々な事業を実施しておりますが、何故か、父母懇談会の参加状況が悪いのでしょうか。また、後援会理事への就任や役員の引き受け手を探すのに何故こんなにも多くの時間を費やさなければならぬのか、悩みは深いものがあります。学業や生活状況等について、お子さんともっと意思疎通をさせていただくとともに、後援会の事業にも関心を持っていただくようお願い致します。

二 より良い後援会事業の展開  
 昨年の第1回目の会報にも記載しましたが、後援会では、後援会活動として現在展開中の事業の妥当性の検証、より学生のためとなる事業を追求する、との観点から、昨年度、WG(ワーキンググループ)を設置し様々な検討を加えて参りました。

結果として、一部事業化にこそ着けた事業もありますが、残念ながら、一朝一夕にこれが最善という事業展開は難しいものと考えており、引き続き今年度も他大学の状況や学生の意見・要望なども踏まえながら、さらに、大学当局事業との棲み分けなども考慮しつつ、学生への還元を第一目標に検討を進めていきたいと考えております。

「一」でも述べましたが、お子さんのお話の中からアイデアが生まれるかもしれませんが、何かありましたら、是非ご一報をお願い致します。

### 三 健全な運営体制の構築

現在の後援会役員体制は、会長1名、副会長及び監査が各2名の合計5名となっておりますが、この内4名の役員の子弟は既に大学等に在籍しておりません。私は総会でも述べましたが、現在の後援会は理事の選任にも弱するなど、凡そ良好で健全な運営体制が構築出来ていないと言えない状況にあり、言わば異常な状況にあるものと考えております。この理由の一つには「一」でも触れましたが、親御さんの関心の低さもあるのではないかと考えております。

このようなことから、少しでも後援会活動に理解を深めていただくことが第一と考え、情報発信も含めて様々な努力をして参りたいと考えておりますが、一方で、やむなく今年度のWGにおいて、「役員選出」を円滑に進めるための方法等について検討すること致しました。勿論、お住まいの状況など、理事及び役員を選出には一定の条件が必要とはなりますが、いずれにしても、青臭い表現ですが、やる気のある方が必要です。お子さんの在学する2年または4年間の間に、1年程度でも結構ですからやってみようというような、会員の皆様方のご理解とご協力をお願い致します。

さて、本会報には、鈴木学長からのメッセージや就職課からのお知らせのほか、今年度の事業計画や予算などを掲載しておりますので、是非ご一読いただき、何かご意見等がございましたら、事務局の方にお寄せいただくようお願い致します。

終わりに、私ども理事及び役員はそれぞれ仕事をもちながら、言わばボランティアとして後援会活動に従事しております。従いまして、活動に行き届かないところもあるかもしれませんが、会員の皆様方には事情をご賢察のうえ、後援会の目的が達成できますよう、今後とも後援会活動への積極的な参加と、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



# 学園創立六十五周年、 そして未来へ

学校法人鶴岡学園 理事長  
北海道文教大学・北海道文教大学短期大学部 学長

鈴木 武夫



新緑も鮮やかな風薫る六月の佳き日に、国内の来賓の皆様、ならびに海外の協定校の来賓の皆様のご臨席を賜り「鶴岡学園創立六十五周年記念式典」を挙行することができましたことは、学園の歴史を振り返り、学園の現在を見つめ直し、学園の未来へと歩みを進める道標として誠に意義深く、学園関係者一同喜びに堪えないところであります。

また、学園創立記念式典を契機に未来を展望した事業として、多くの皆様のご協力をいただいで、国際交流会館や教室を含む多目的な機能を持った学園本館の建設もこの五月に竣工することができました。学園の歴史の節目を形作り、また、学園本館の完成を祝う気持ちを込めて記念式典を挙行する運びになりましたことは、この上ない大きな喜びであります。

ここで本学園の高等教育六十五周年の歴史を振り返りますと、まずその設立からして多くの苦難を乗り越えることによつて学園が成長することを予測させるものであります。開戦間もない時期に、創立者鶴岡新太郎・トシコ夫妻はその社会貢献への強い意志をもつて、1942年に「北海道女子栄養学校」を設立したのが鶴岡学園の第一歩でありました。そして終戦を迎え、すべての秩序が改変されるなかで、法令に基づき学校を整備し「北海道栄養学校」と改称しました。続いて、1959年学校法人鶴岡学園の設置認可を受け、1963年には栄養学校を発展させ「北海道栄養短期大学」を開学し、食物栄養学科を設置し、1968年には幼児教育学科を設置しました。

その後、創立者の人格を敬愛し意志を継ぐ人々によって学園は発展を続けました。1988年には食物栄養学科が

恵庭市に移転し、恵庭と札幌の2キャンパス制をとることになりました。1999年には恵庭キャンパスに外国語学部3学科をもつて四年制大学を開学しました。2003年には外国語学部に大学院を設置し、また、短期大学の食物栄養学科を「人間科学部健康栄養学科」として四年制に改組しました。続いて人間科学部の拡充整備を進め、2006年には「理学療法学科」を、2007年には「作業療法学科」を、そして本年度、2008年には「看護学科」を設置し、現在に至っております。

本学園の教育研究の基本理念は「科学的研究に基づく実学の追求」であり、「社会に貢献する実力のある人材の育成」であります。鶴岡学園の創立以来、その目的は実践的学問の追求であり、同時に関連する学問領域の真摯な研究を通して人間の科学としての教育に貢献することにあります。加えて重要性を増しておりますのは「充実した教養教育の確立」であります。私たちは教育研究を単なる専門知識の集積に留めることなく、総合的判断力を備えた豊かな人間性を涵養するための充実した教養教育を確立しなければなりません。

幸いなことに本学園には、能力の高い意欲にあふれた教職員スタッフが揃っております。「学生を決してニートやフリーターにしない」という意志確認のもと、学生自身そしてその保護者や家族の皆様の高まる教育実践を積み重ねる所存です。

後援会の皆様におかれましては、今後とも本学園に対しまして一層のご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## 平成20年度 北海道文教大学後援会役員名簿

名譽会長	鈴木 武夫	会長	伊藤 誉志久	副会長	加藤 英太郎	副会長	木村 昌幸	監査	渡部 敏	監査	進藤 春美	理事	岡 敬子	理事	佐藤 明子	理事	西谷 紀子	理事	小林 翠	理事	齊藤 澄子	理事	荒関 克子	理事	佐々木 義行	理事	水越 珠美	理事	安藤 裕子	理事	本田 陪照	理事	佐藤 博	理事	吉野 祐二	理事	山崎 靖則	理事	永原 和夫	理事	近藤 文衛	理事	大滝 まり子	理事	宮崎 里枝	事務局長	浅見 晴江	事務局	瀬能 均	事務局	高野 敏彦	事務局	櫻澤 倫子	事務局	細井 雅人
------	-------	----	--------	-----	--------	-----	-------	----	------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	--------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	-------	----	-------	----	--------	----	-------	------	-------	-----	------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

就職活動の支援について

近年、全国的にも「就職する意志を持たない」学生が増えてきているようです。また、「就職したい」願いがあっても、どのように希望の進路先を選択し、就職活動に向けての準備や活動の仕方等、就職に関わる具体的な情報収集や行動が出来ない学生も多いようです。

大学教育に於いても、これらの予想される大学生の状況等を踏まえた学生への就職活動の支援が求められます。

本学就職課では、一人ひとりの学生の主体性を大切に、その主体性を生かしながら学生の就職活動の意欲を喚起し、大学・短大それぞれの学年進行に合わせ、計画的、系統的に取り組むよう学生に働き掛けをしています。

全学部・学科の学生に対し、全学年前期後期の授業始めのオリエンテーションで、学生時代の出口である進路決定を意識しながら、特性を豊かに表現できる自己を確立出来るよう、日々努力する学生生活であることを求めています。その為には、さまざまな活動を経験し、その体験から学んだことを自ら評価し、このことを今後に生かしながら自己を高めていくことが大切です。

就職課としても外国語学部教員との連携によって外国語学部学生を中心とした北海道・洞爺湖サミットに於ける語学ボランティア活動の参加、経営者協会を通じた企業等に於いての実習・研修的なインターシップ先の紹介等、学外での実際の活動の機会を用意しています。

3年生の学生は、後期から外国語学部、人間科学部健康栄養学科に於いて外部講師を中心とした就職講座によって系統的に、実践的な就職活動を具体的に学んでいます。短期大学部幼児保育学科に於いては、学生生活が短いこともあり、1年次、2年次に亘って幼稚園・保育所・施設等の就職に向けて、就職活動の基本から段階的に学んでいます。

人間科学部理学療法学科・作業療法学科および看護学科それぞれの専門学科では、大学医学部、病院等での実習・見学等を通じて、学科の専門性の職業に携わる方々の講義や施設見学によって授業での知識や技術を確かめながら、勤労観や職業観を序々に培う学習体験を学年進行や専門性の深みに応じて実施しています。

就職指導室を常に開放し、学生の希望に応じ、学生の立場に立った一人ひとりの学生の就職活動の支援に当たっています。

ご父母の皆さんにお願い

「幸せになりたい。幸せな生き方をしたい」人間誰もが願っていることです。

最近では、学校卒業後、アルバイトやフリーターの人が多くなっていると言われています。果たして将来そのような立場で、生計を立て、自立しているのか考えなければなりません。

「定職を持つて、自分の能力や働くことへの意欲を発揮して、日々の職業を通じて自己実現を図り、将来に亘って健康に、そして幸福に生きて欲しい」このことは、ご父母の皆さんの共通の願いでもあると思います。

学生の多くはアルバイト等を経験し、人と人とのやり取りや働くことを体験しています。年齢的にも一人前の人間です。しかし社会経験がまだ未熟です。

その為、自らの将来設計を立て、その実現に向けて、力強く行動出来るとは限りません。それだけに、誰よりも、学生自身のことを最もご理解なさっているご父母の方々が、進路について、精神的な励ましや支援をしていくことが、大切になってくる

思います。将来、個々の学生が、自分の仕事に汗を流し、頑張っていく為には、自らがその職業を選択し、進路を決定していかなければなりません。

どうかご父母の皆様にも、昨今の卒業の企業の採用状況や今日、企業が求める人材および就職活動そのものについてご理解をいただきたいと思ひます。

その為にも、恵庭キャンパス、札幌キャンパス、函館および釧路地方会場で予定している父母懇談会にご出席くださるようお願い致します。

資格取得について

資格を持つことは、将来の財産であり、仕事をする上で頼りない武器になります。新入社員採用でのメリットにもなります。どうぞご父母の皆さんも学生各自が在学中に、資格取得に挑戦することを勧めたいと思います。

就職講座を含め、学内開催の講座などに本学後援会が支出していただいている内容は下記の通りです。

後援会支援による講座	内 容
就職支援講座	『R-CAP自己発見診断』 ※3年生対象 『エントリーシート(履歴書)添削』 ※3年生対象 『公務員試験対策講座』 ※全学年対象 『就職直前対策』面接・履歴書 ※3年生対象 札幌にて未内定者対策セミナー ※就職活動学生
資格支援講座	『国家資格FP資格講座』 ※全学年対象 『日商販売士資格講座』 ※全学年対象 『日商簿記資格講座』 ※全学年対象 就職に有利な資格を取得者に支援 ※全学年対象
就職活動支援	大学作成『A4履歴書・封筒』 ※就職活動学生 学外就職課として札幌市内に活動の拠点を開設
特別活動支援	サミット語学ボランティア 参加学生へ支援
就 職 講 座	内 容
就職活動準備講座(大学)	3年次後期より学部・学科毎に16回の実施
就職活動準備講座(短大)	1年次後期より実施
就職支援講座	『一般常識模擬試験』『ストレングス』 ※3年生対象
資格支援講座	『MOS(エクセル)検定講座』 ※全学年対象
就職活動支援	就職活動テキスト ※大学3年・短大1年生対象 『就職活動直前セミナー』

平成19年度 決算

<収入の部>

科 目	予算額	決算額	備 考
繰越金	9,312,245	9,312,245	
会費収入	25,740,000	25,410,000	会費16,500円*1,540名
雑収入	12,000	26,469	普通預金利息
合 計	35,064,245	34,748,714	

<支出の部>

科 目	予算額	決算額	備 考
1.事務費	900,000	851,857	
(1) 通信費等	900,000	851,857	総会・父母懇・役員会等案内状郵送・大学名入封筒等
2.会議費	1,898,000	1,414,443	
(1) 総会	530,000	455,437	総会費用・役員交通費・紅白機頭(入式配布)
(2) 役員会費	1,368,000	959,006	役員会・父母懇談会打合せ・交通費
3.事業費	27,914,000	18,735,498	
(1) 学生活動助成	14,000,000	9,475,033	大学と短期大学部は学生数按分
(a) 学生会助成	800,000	800,000	短期大学部学生会への助成
(b) 文化・体育助成	11,200,000	6,675,033	課外活動費・大学学友会助成・パークゴルフセット等
(c) 行事助成	2,000,000	2,000,000	大学学友会及び短期大学部大学祭・体育大会への助成
(2) 父母懇談会	2,100,000	1,540,677	父母懇談会4会場経費(恵庭・札幌・函館・北見)
(3) 卒業記念助成	3,114,000	2,738,925	卒業記念品(本皮手帳・ペンケース)417個・紅白機頭(卒業式配布)
(4) 卒業生を祝う会	2,500,000	2,385,105	卒業生を祝う会
(5) 就職活動助成	2,500,000	2,355,123	
(6) 慶弔費	200,000	47,435	3件
(7) 修学資金貸付金	2,500,000	0	
(8) 広報費	1,000,000	193,200	会報(年1回)
4.予備費	4,200,000	4,112,988	食堂のテーブルと椅子・留学生交流会経費一部助成
支出計	34,912,200	25,114,786	
次年度繰越	152,245		
合 計	35,064,245	25,114,786	

平成20年度 予算

<収入の部>

科 目	予 算	備 考
繰越金	9,633,928	
会費収入	29,040,000	会費16,500円*1,760名
雑収入	20,000	普通預金利息
合 計	38,693,928	

<支出の部>

科 目	予 算	備 考
1.事務費	1,300,000	
(1) 通信費等	1,300,000	総会・父母懇・役員会等案内状・会報郵送・大学名入封筒等
2.会議費	1,700,000	
(1) 総会	500,000	総会費用・交通費他
(2) 役員会費	1,200,000	役員会・父母懇談会打合せ・交通費
3.事業費	28,825,000	
(1) 学生活動助成	12,525,000	学生数按分～大学1,600名・短大160名(大学:短大=9:1)
(a) 学生会助成	900,000	学友会(大学)・学生会(短大)助成 (大学810,000円・短大90,000円)
(b) 文化・体育助成	6,000,000	学生活動に関する助成 (大学5,400,000円・短大600,000円)
(c) 各種行事助成費	900,000	大学祭・体育大会等行事助成 (大学810,000円・短大90,000円)
(d) 感染症抗体検査費	4,725,000	1,800人×2,625円
(2)「後援会文庫」整備事業費	1,000,000	新規事業・書籍購入
(3) 父母懇談会	2,500,000	懇談会会場費等(恵庭・札幌・函館・道東会場予定)
(4) 卒業記念助成	2,700,000	卒業生記念品等
(5)「卒業祝賀会」費	3,000,000	卒業祝賀会経費
(6) 就職活動助成	3,500,000	就職講座等
(7) 短期大学音楽設備整備事業費	700,000	新規事業 短期大学部助成「エレピアン用ヘッドフォン」購入(2名年度事業)
(8) 修学資金貸付金	0	
(9) 修学資金貸付金特別会計操出金	2,000,000	特別会計の設置による
(10) 広報費	700,000	会報(年2回)・広報活動への助成費
(11) 慶弔費	200,000	
4.予備費	6,868,928	アドバイザー制度助成(学生指導助成事業)・ラウンジ等の充実費用助成・65周年記念事業
合 計	38,693,928	

平成20年度 北海道文教大学後援会修学資金貸付金特別会計予算

<収入の部>

科 目	予 算	備 考
北海道文教大学後援会予算繰入金	2,000,000	

<支出の部>

科 目	予 算	備 考
修学資金貸付金	2,000,000	(3人分)

平成20年度  
後援会  
事業計画

平成20年 4月2日	定期総会
平成20年 4月25日	第1回ワーキンググループ
平成20年 5月16日	第1回役員会
平成20年 6月8日	北海道文教大学創立65周年記念事業助成
平成20年 7月19日・20日	大学祭(札幌キャンパス)の助成
平成20年 7月19日	父母懇談会(札幌キャンパス)助成
平成20年 7月4日	第2回ワーキンググループ
平成20年 8月	第2回役員会
平成20年 8月30日	父母懇談会(釧路会場)
平成20年 9月7日	父母懇談会(函館会場)
平成20年 9月	第3回ワーキンググループ

平成20年 10月4日・5日	大学祭(恵庭キャンパス)の助成
平成20年 10月5日	父母懇談会(恵庭キャンパス)助成
平成20年 10月7日	中間監査
平成20年 11月	第4回ワーキンググループ
平成20年 12月	第3回役員会
平成21年 1月	第5回ワーキンググループ
平成21年 3月	第6回ワーキンググループ
平成21年 3月15日	平成20年度学位記授与式記念品助成
平成21年 3月15日	平成20年度卒業祝賀会及び同窓会入会式助成
平成21年 3月	監査
平成21年 3月	第4回役員会

平成20年度父母懇談会

父母懇談会は、大学、父母、学生間の相互理解を図る三位一体の教育を目的として、大学と後援会が協力して左記の日程で開催し、大学と教育の現状をご理解いただけるよう計画しております。

キャンパス会場では、学生のキャンパスライフもご覧いただけるように大学祭当日に開催し、地方会場は今年度は函館・釧路で開催いたします。

当日は、大学の現況、就職、教務、学生生活関係の報告のほか、個人面談では成績表などを用意してきめ細かく対応しますので、多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

詳細は、「父母懇談会のご案内」をご覧ください。

キャンパス会場

※キャンパス会場は大学祭を開催しております。

札幌キャンパス／平成20年7月19日(土)  
北海道文教大学短期大学部  
札幌市南区藤野400番地  
011(591)8531

恵庭キャンパス／平成20年10月5日(日)  
北海道文教大学  
恵庭市黄金中央5丁目196番地の1  
0123(34)0011

地方会場

※北海道文教大学短期大学部合同

釧路会場／平成20年8月30日(土)

釧路プリンスホテル 釧路市幸町7丁目1

函館会場／平成20年9月7日(日)

ロワジールホテル函館 函館市若松町14番10号